

理 事 会 議 事 録

- 1 日 時 令和6年7月5日（金）
午後1時55分から午後2時30分まで
- 2 場 所 東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号 コスモス青山4階
東京都住宅供給公社 特別会議室

3 出席者

理事長	中井敬三	理事	林健一郎
理事	佐藤千佳	理事	福崎宏志
理事	青柳一彦	理事	大塚万紀子
監事	居原健一		

理事の総数6名 出席理事の数5名（うちオンライン出席2名）

以上のおり、出席があり、理事会規程第5条第2項により理事会は成立した。
理事長中井敬三が議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

4 議 案

- 第1号議案 令和5年度 業務報告について
第2号議案 令和5年度 決算について
第3号議案 東京都住宅供給公社組織規程の一部改正について
第4号議案 東京都住宅供給公社評議員の推薦について

報 告 事 項

- 内部統制・リスク管理について
令和5年度監査報告について

5 議事内容

(1) 第1号議案及び第2号議案について

議長は、第1号議案及び第2号議案について、相互に関連することから、一括して審議を行うことを確認し、総務部長及び総務部担当部長が各議案の説明を行った。

続いて、議長が意見等を募ったところ、以下のとおり発言があった。

<大塚理事>

少子化対策についてお聞きします。業務報告に結婚予定者が優先して入居を申し込むことができる取組を実施されているという記載がありました。こうした少子化対策への取組は特に注目をしておりまして、結婚予定者や子育て世帯への入居支援など、少子化対策として現在実施している取組、今後の予定がありましたら教えていただけますか。

<福崎理事>

まずは結婚予定者の支援についてですが、現在少子化がますます進む中、東京都では、望む人誰もが結婚から妊娠・出産・子育てがしやすい社会の実現を目指し、様々な少子化対策を推進しております。当社においても、結婚予定の方々を応援、支援するため、令和5年度から「結婚予定者優先申込制度」を開始いたしました。通常、当社の住宅に入居を申込みの場合に、募集開始から7日間、結婚予定の方々が優先して申込みができる制度となっております。募集する住戸は、駅から徒歩圏など交通利便性の高い住宅から選定しており、令和5年度の契約実績は、35件となっております。

次に子育て世帯等の入居支援ですが、先着順の空き家募集では2居室以上ある住戸など、子育てに適した住宅に子育て世帯等が優先して申込みができる「子育て世帯等優先申込制度」を、また新築住宅の募集では、子育て向けに当選倍率を5倍優遇する制度を設けております。

このほか住宅は限定されていますが、新婚世帯や、子育て世代などを対象に、入居から3年間、毎月の家賃を20%割引く制度も実施しております。

以上がソフト面ですが、ハード面においては、一般賃貸住宅の建替えに当たり、玄関ドアの指挟み防止や感電防止用のシャッター付きコンセントの設置など、都の認定制度である「東京こどもすくすく住宅認定」の取得に取り組み、子育て世帯に配慮した住宅を提供しております。

最後に今後の取組ですが、子育て世帯の住まい探しを応援するため当社の子育て世帯向けの住宅や支援メニューなど、子育て関連の情報をわかりやす

く提供する専用の相談窓口の設置を検討しております。

また出産や子供の成長など、それぞれのライフスタイルの変化により「住み替え」を希望する子育て世帯向けに、希望する住宅、間取り、家賃帯を事前に登録し、空きが出次第優先してご案内する新たな「住み替え支援制度」の導入も併せて検討しております。

<大塚理事>

次に、JKK 住まいるアシスタントについてお聞きします。JKK 住まいるアシスタントは、今後重要な役割になるのではと大変注目しております。快適な住まいと暮らしを支えるためには、設備的なハードのアプローチだけでなく、人とのつながりや安心感など人の感情や感覚に寄与するソフト面のアプローチも重要だと考えています。ただし、関係機関や地元自治会等との様々な調整や、コミュニティ活動の自立化に向けた伴走支援など、コーディネーター役として難易度が高い業務においては、プレッシャーやストレスがかかってくることも出てこようかと思えます。そのためには、住まいるアシスタントへのメンタルケアなども重要になると考えています。この点について、JKKとしてどのようなサポート体制を用意しているのか、今後の検討状況などについて教えていただけますか。

<福崎理事>

高齢化等々が進んでおりますので、こうした取組は今後非常に重要なものと認識しております。住まいるアシスタントについては、関係機関や地元自治体の皆さまなど、対面による打ち合わせや諸調整の機会が多くあるため、現場に行く際は、常に2人のペア体制で業務に当たるようにしております。

また、打ち合わせや調整を行った際は、必ず報告書を作成した上で、担当課長や係長と情報交換、情報共有を行い、それぞれの問題点や課題がある場合にはその都度、組織としてフォローする体制を構築しております。

今後とも、団地におけるコミュニティの活性化等に向けて、住まいるアシスタントの能力が最大限に発揮できるよう、メンタルケア等も含めて、組織としてサポートしてまいります。

続いて、議長が意見等を募ったところ、意見等が無かったため、議長は、第1号議案及び第2号議案について、その可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。

(2) 第3号議案について

総務部長が第3号議案について説明した。続いて、議長が意見等を募ったところ、意見等が無かったため、議長は、第3号議案について、その可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。

(3) 第4号議案について

総務部長が第4号議案について説明した。続いて、議長が意見等を募ったところ、意見等が無かったため、議長は、第4号議案について、その可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。

(4) 報告事項について

総務部長が「内部統制・リスク管理について」説明を行った。続いて、議長が意見等を募ったところ、以下のとおり発言があった。

<大塚理事>

内部統制の業務効率化について意見を申し上げます。少子高齢化の流れを考えると業務の効率化は非常に重要な視点になると思われまますので、このような内部統制のご報告の中に入れていただいたことを感謝申し上げます。

他方で業務の効率化はやはり声掛けだけでは進まないところでもあり、非常に難しいと思っております。ぜひ JKK の中で確実に進めていただきたいと考えておまして、どの業務をいつまでにどの程度効率化するのかなどといった KPI のようなものを定めることによって、推進力を高めることがまだまだできるのではないかと期待をしております。ぜひ実行力や推進力を高めて、ますます取組を進めていただきたいと思っております、期待を込めて意見を申し上げます。

<総務部長>

今後の少子高齢化に伴う働き手不足や、物価高騰などのコスト上昇もあり公社経営にとってかなり大きな影響を及ぼすと考えておりますので、業務を効率化して省力化やコスト削減を図っていくことは大変重要であるとと考えております。

当社はこれまでも例えば電子決裁システムの導入や RPA の活用などで、業務の効率化に向けて取り組んできたところです。今後も一層の効率化を進め、業務効率化の目標に関しては、今後どのようなことができるかということを考えてまいります。

議長がその他の意見を募ったところ、特に意見がなかった。

続いて、監査室長が「令和5年度監査報告について」説明を行った。

続いて、議長が意見等を募ったところ意見等はなかった。